システムキッチン カップボード

取扱説明書

このたびは、システムキッチンをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

システムキッチンを正しくお使いいただくために、ご使用になる前に本説明書をよく読んで正しくお使いください。

このシステムキッチンは、一般住宅用の製品ですので業務用には使用しないでください。お読みになったあとは必ず大切に保管してください。

保証書付

もくじ

1 安全上のご注意 [必ずお守りください]

■ 表示内容を無視して誤った取り付け・使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明します。

⚠ 警 告	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負うことが想定される危害の程度」をいう。
⚠ 注 意	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」をいう。

■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明します。

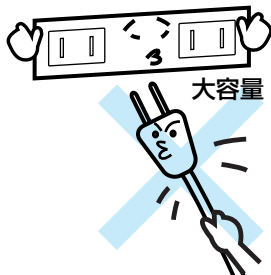
この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。

この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。

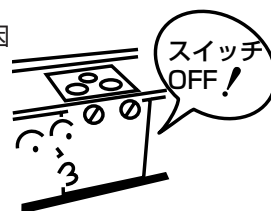
⚠ 警 告

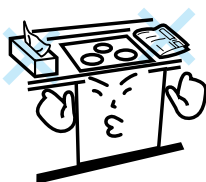
電源コンセントの表示容量（ワット）をこえる電気器具は使わないでください

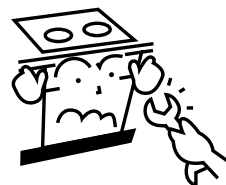
容量をこえて使用すると電源コンセント部が発熱し、火災の恐れがあります。

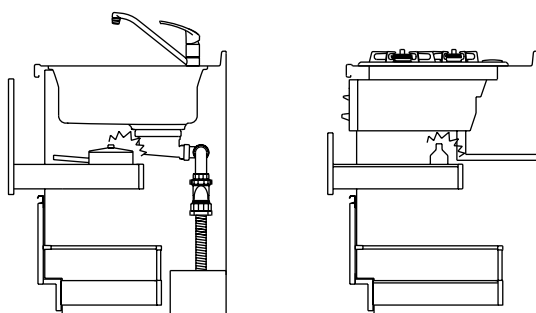
大容量

加熱機器の使用後やお出かけのときは、スイッチが「切」になっていることを確かめる

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になることがあります。

スイッチOFF！

加熱機器の上や回りには燃える物を絶対に置かない

スイッチの切り忘れなどにより着火し、火災の原因になることがあります。

絶対に分解・修理は行わない

ケガや故障、事故の原因となります。
修理は購入店へご相談ください。

引き出しに収納する際は、収納物がガス管や給排水の配管に干渉しないよう注意してください

収納物と配管が接触し、ガス漏れ・水漏れや破損の原因になります。

コンセントをぬらさない

感電や火災の原因になることがあります。

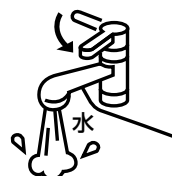
⚠注 意

固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムを腐食・劣化し漏水の原因になります。保管の場所や方法に充分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

混合水栓を使用するときは、必ず水を先に出してください

水栓および熱湯でやけどをする恐れがあります。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水

加熱機器の使用中、使用直後は、加熱機器周辺に手をふれないでください

加熱機器周辺の表面温度が高くなっているので、やけどの恐れがあります。

台所で使われる洗剤・殺虫剤・防腐剤・その他の薬品類それぞれの、容器などに表示されている注意事項を必ずご覧ください

使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、キッチン本体や機器が傷み、水漏れ事故や、故障の原因となることがあります。

注意

棚板の棚受けダボは、確実にセットしてください
棚板には、転がりやすい物や重い物を載せないでください

棚板がたわんだり、落下する恐れがあります。
各部材の耐荷重については16ページを参照ください。

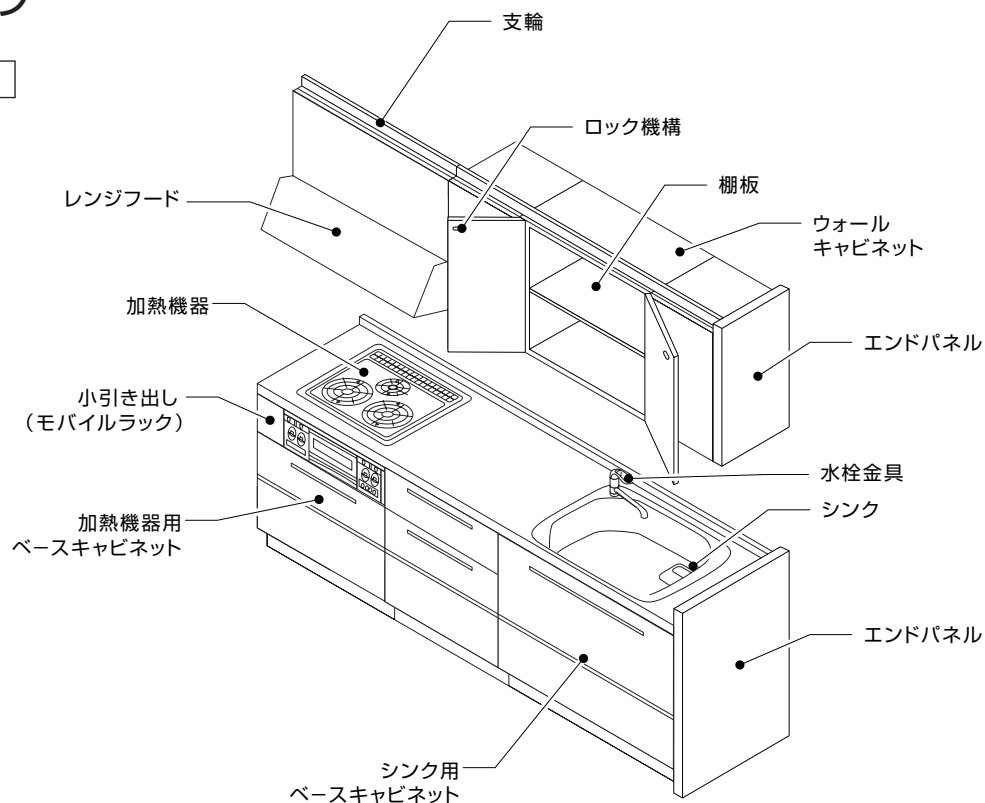
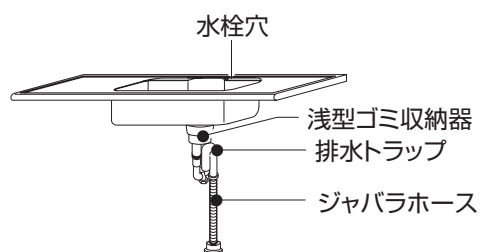
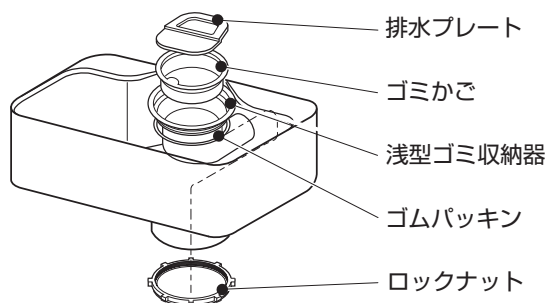
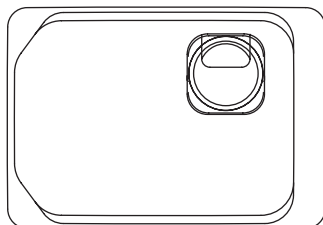
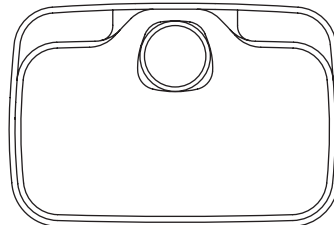
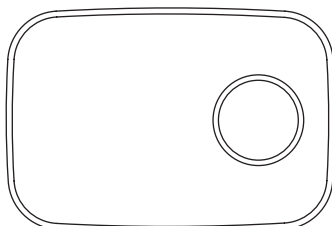
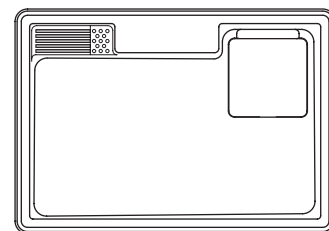
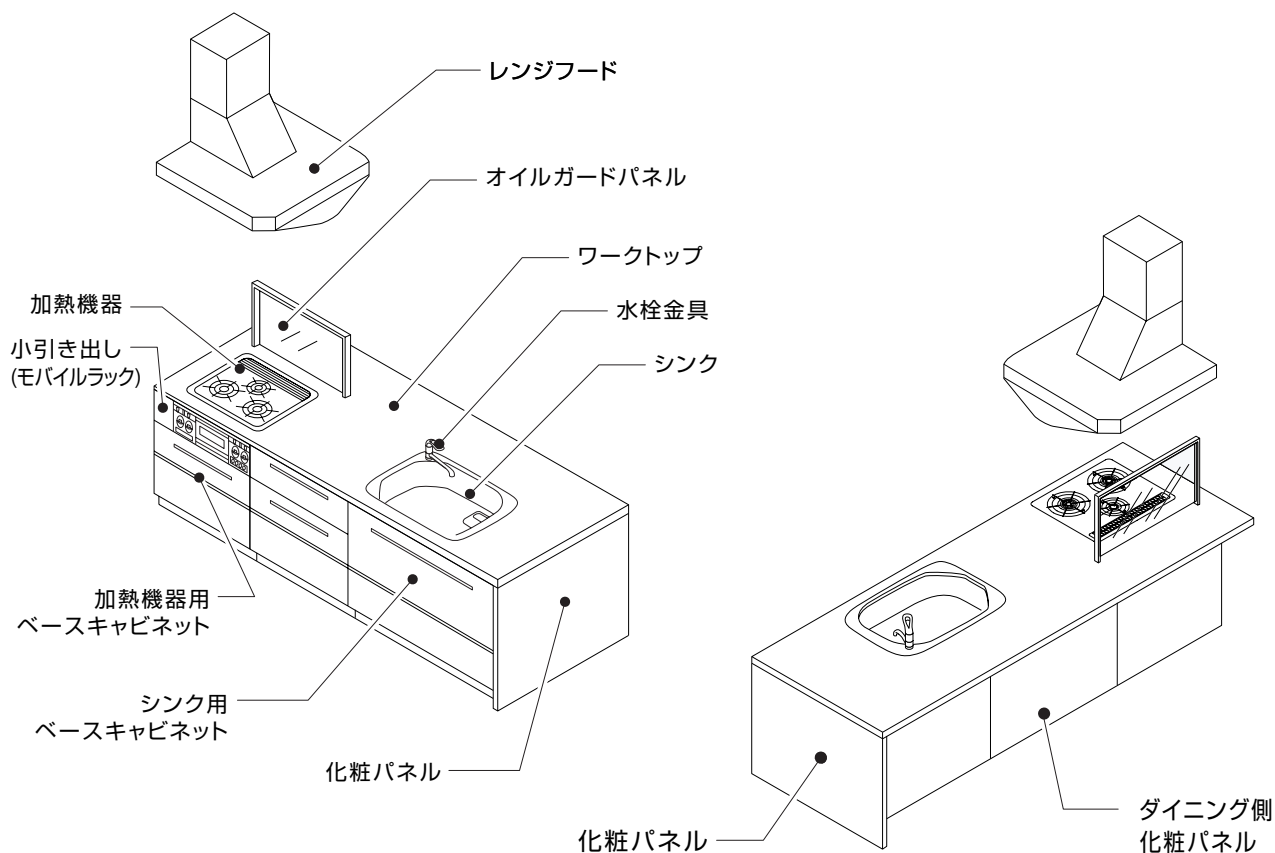
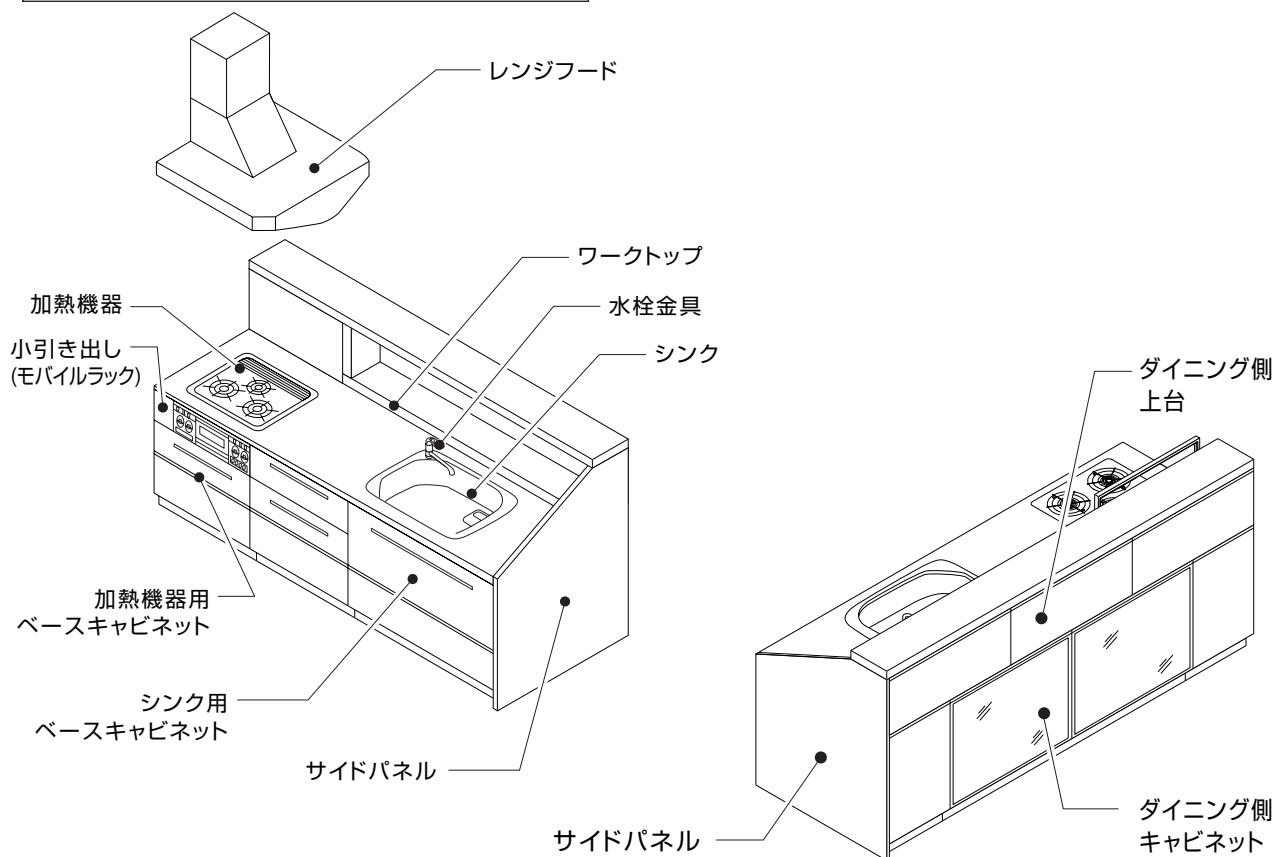
扉が傾いたり、ガタついているときは、蝶番のビスを締めなおしてください

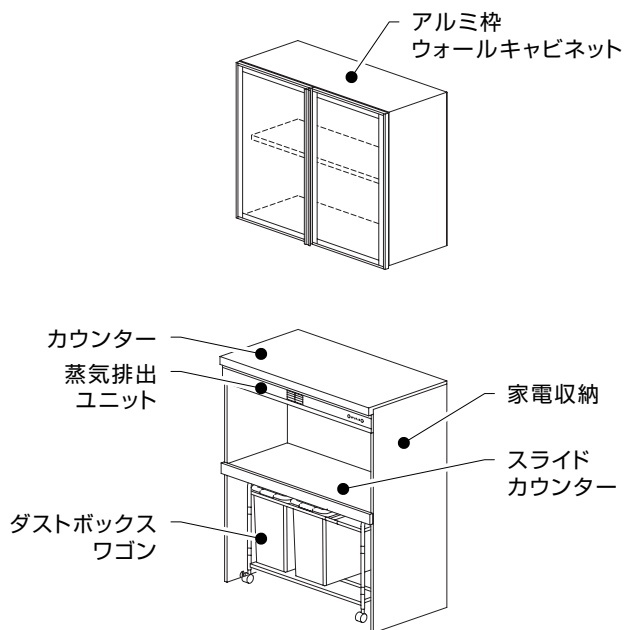
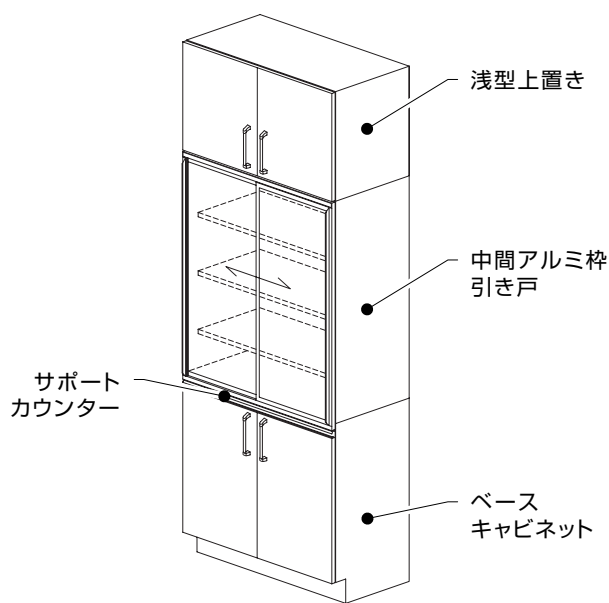
扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。
21ページのビス㋑ ㋺をしっかり固定してください。

キッチンに組み込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの機器に添付されている取扱説明書および本体の注意表示を必ずご覧ください

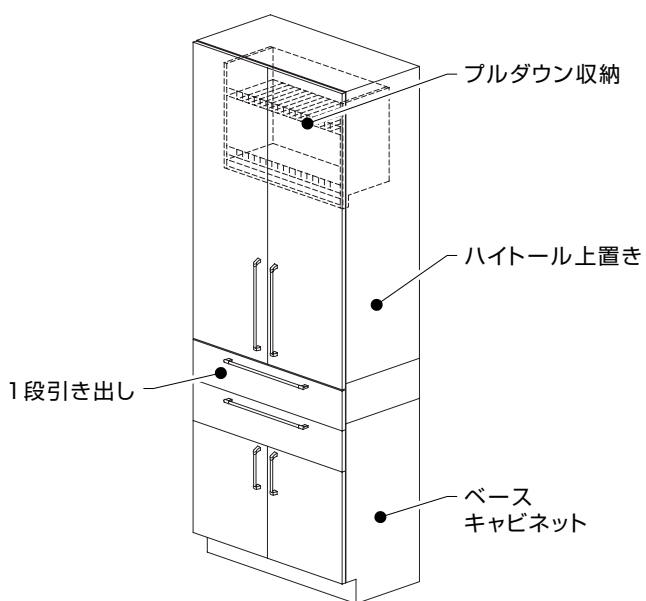
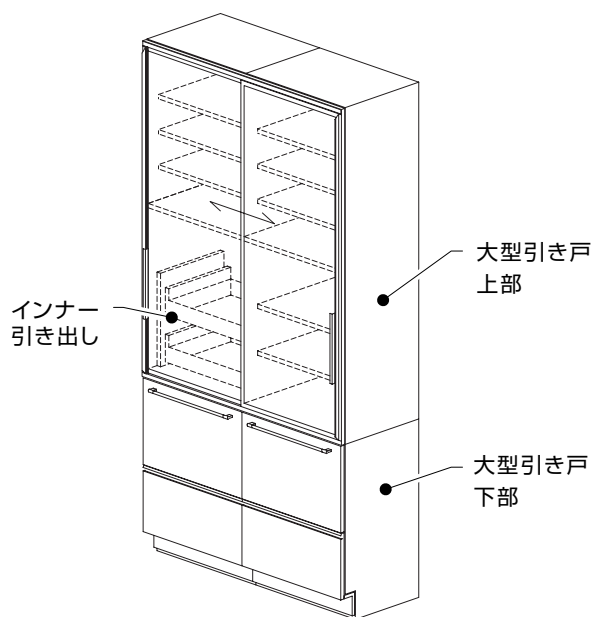
使い方を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因となる恐れがあります。特に長期間不在にする場合は、ガスの元栓の確認などをしっかり行ってください。
IHクッキングヒーターでは材質や底の形状などによって、使える鍋と使えない鍋があります。新しく購入するときは、財団法人「製品安全協会」のSGマーク [S IH] [S CH·IH] のある鍋、またはあっせん鍋をおすすめします。

※保証期間、内容についても各機器についている保証書をご確認ください。

2 各部のなまえ

キッチン
I型
支輪
ロック機構
棚板
レンジフード
ウォール
キャビネット
加熱機器
エンドパネル
小引き出し
（モバイルラック）
水栓金具
加熱機器用
ベースキャビネット
シンク
エンドパネル
シンク用
ベースキャビネット
シンク分解図
排水プレート
ゴミかご
浅型ゴミ収納器
ゴムパッキン
ロックナット
水栓穴
浅型ゴミ収納器
排水トラップ
ジャバラホース
シンク形状
Vシンク
(スリーレイヤードシンク)
Dシンク
Nシンク
Gシンク

ペニンシュラ型（フルフラット対面）
レンジフード
オイルガードパネル
ワークトップ
加熱機器
水栓金具
小引き出し
(モバイルラック)
シンク
加熱機器用
ベースキャビネット
シンク用
ベースキャビネット
化粧パネル
化粧パネル
ダイニング側
化粧パネル
ペニンシュラ型（アップカウンター対面）
レンジフード
ワークトップ
加熱機器
水栓金具
小引き出し
(モバイルラック)
シンク
ダイニング側
上台
加熱機器用
ベースキャビネット
シンク用
ベースキャビネット
サイドパネル
サイドパネル
ダイニング側
キャビネット

カップボード

ハイカウンタータイプ

トールタイプ（中間引き戸）

ハイトールタイプ

大型引き戸タイプ

3 ワークトップ・カウンター

使用上の注意

⚠注意

固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムを腐食・劣化し漏水の原因になります。誤って使用したときは、すぐに水洗いをし、よく拭き取った後、乾拭きしてください。

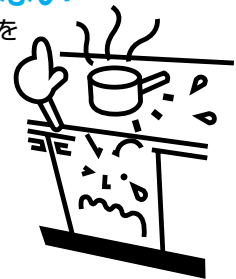
ぬれた鉄製品を放置しない

ぬれた包丁や缶詰、
鉄製の鍋などを長時間放置すると、
サビが付着（もらいサビ）します。

汚れや塩分はすぐ洗い流す

放置すると汚れが落ちにくくなり、
サビや変色の原因になります。
醤油・食酢・調味料・煮こぼれなど
の汚れはすぐに洗い流し、乾拭き
をしてください。

熱い鍋などを直接置かない

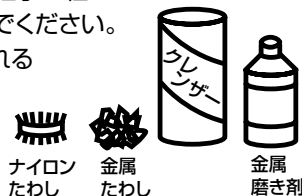
沸騰したヤカンや熱したフライパンを
直接置かないでください。
ヒビ割れ、変色、フクレの
原因となります。
特に人工大理石の場合は
ご注意ください。

衝撃を与えない

鋭利な物や、
鍋などの重い物を落とすと、
へこみやキズになります。

包丁などを直接使用しない

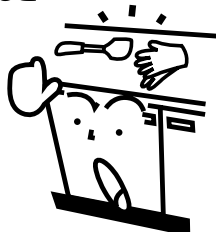
包丁やナイフなどの刃物を、
直接当てると表面が傷つきます。
必ずまな板をご使用ください。

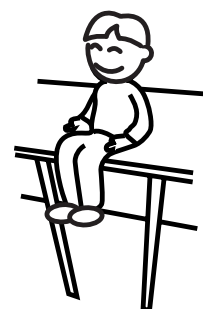
金属たわしや粒子の粗いクレンザー、金属磨き剤などを使用しない

金属たわし、ナイロンたわし、粒子の粗い
クレンザーなどを使用しないでください。
キズが付き、光沢がそこなわれる
恐れがあります。

鍋などを引きずらない

鍋や大皿などを引きずると、表面が
傷つきますので避けてください。

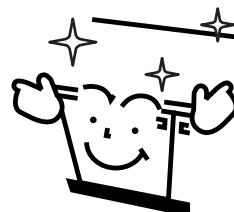
塩ビ系ゴム製品を放置しない

輪ゴム、ゴムベラなどを長時間放置すると
変色の恐れがあります。
特に人工大理石の場合は
ご注意ください。

上に乗らない

事故や破損の原因になります。

お手入れ方法

調味料や油などをこぼしたら…
すぐに拭き取ってください。その際、強くこすらないでください。

1日の終わりには…
水洗いをし、よく拭き取った後、乾拭きをしてください。

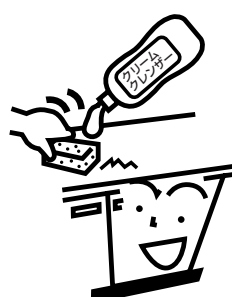
週に1度は…
台所用洗剤をスポンジに付けて汚れを落としてください。
水拭きでしっかり洗剤を取り除いた後、乾拭きをしてください。
水気を残すとサビや水あかが発生する恐れがあります。

くもりが出たら…
スポンジにクリームクレンザーを
付けて拭きます。
水拭きでしっかり洗剤を取り除いた後、
乾拭きをしてください。
水気を残すとサビや水あかが
発生する恐れがあります。

汚れが目立つ…
スポンジに台所用洗剤をつけて、
汚れを拭き取ってください。
落ちにくい場合は
クリームクレンザーを使い、
円を描くようにやさしく拭き、
その後、水拭きし、よく拭き取った後、
乾拭きをしてください。

サビが出た!!
市販のメラミンフォームもしくは
クリームクレンザーなどで、
ていねいに、サビを落としてください。
サビを拭き取ったら、水で洗い流し、
よく拭き取った後、乾拭きをしてください。
水気を残すとサビや水あかが
発生する恐れがあります。

キズが付いた!!
小さな擦り傷は
クリームクレンザーで
磨いてください。

お手入れ上の注意

⚠注意

塩素系洗剤、漂白剤、酸類などを使わない
塩素系洗剤、漂白剤、酸類などを
絶対使用しないでください。
サビの原因となります。
また、人工大理石にはアセトン、
シンナーなどの溶剤も絶対に
使用しないでください。
変色・変質する恐れがあります。

金属たわしや粒子の粗いクレンザー、金属磨き剤などを使用しない
金属たわし、ナイロンたわし、粒子の粗い
クレンザーなどを使用しないでください。
キズが付き、光沢がそこなわれる
恐れがあります。

シンクまわり（シンク・排水トラップ）

使用上の注意

⚠注意

ぬれた鉄製品を放置しない

ぬれた包丁や缶詰などを
シンクに放置しないでください。
サビが移る（もらいサビ）恐れが
あります。

熱い物を流さない

高温のお湯などを直接シンクに流すと、
ゴム・プラスチック部分の変形・破損、
水漏れの原因となります。
水と一緒に流して下さい。

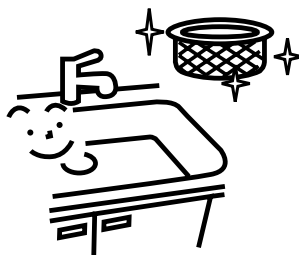
汚れや塩分はすぐ洗い流す

放置すると汚れが落ちにくくなり
サビや変色の原因になります。
醤油・食酢・調味料・煮こぼれなどの
汚れや塩分の強い物はすぐに
洗い流してください。

油類は流さない

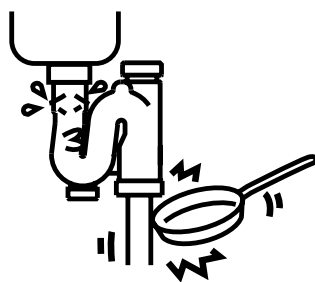
環境保護のため油類は
流さないでください。
パイプ内壁に付着して、
パイプが詰まり漏水や、
水がこぼれる恐れがあります。

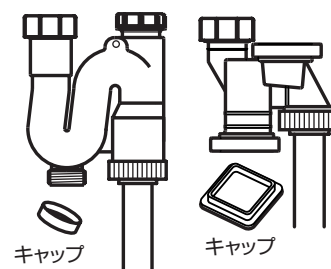
ゴミはこまめに捨てる

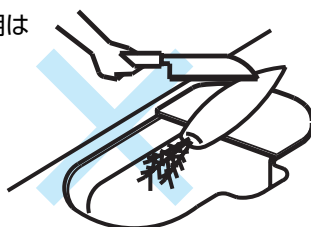
ゴミをためすぎると
臭気のもとになります。
水の流れも悪くなりますので、
ゴミはこまめに捨ててください。

結露に注意する

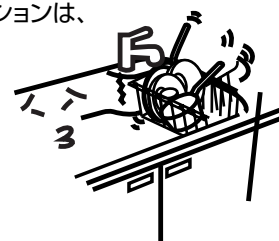
大量の氷や冷凍食品を直接
置き、長時間放置しないで
ください。
結露する恐れがあります。

排水セットに衝撃を与えない

変形・破損、水漏れの
原因となります。

あけたキャップは確実に締める

排水の流れが悪い場合には、
排水トラップ下のキャップを外し、
掃除してください。
また、キャップを元に
戻すときには、必ず、
キャップの中に
黒色のパッキンが
付いているのを確認してから
確実に締めてください。
水漏れし、拡大損害の
恐れがあります。

不安定な場所で使用しない

まな板は、不安定な場所での
使用や、シンクでの渡し掛け使用は
やめてください。
ケガや破損の原因になります。
※Vシンク以外が対象です。

転倒に注意する

水切りかごなどのシンクまわりオプションは、
載せすぎたり、1カ所に
集中させないで平均して
載せてください。
バランスがくずれて、
ケガをする恐れがあります。

Vシンク（スリーレイヤードシンク）用洗剤カゴ、まな板立ての取り付け

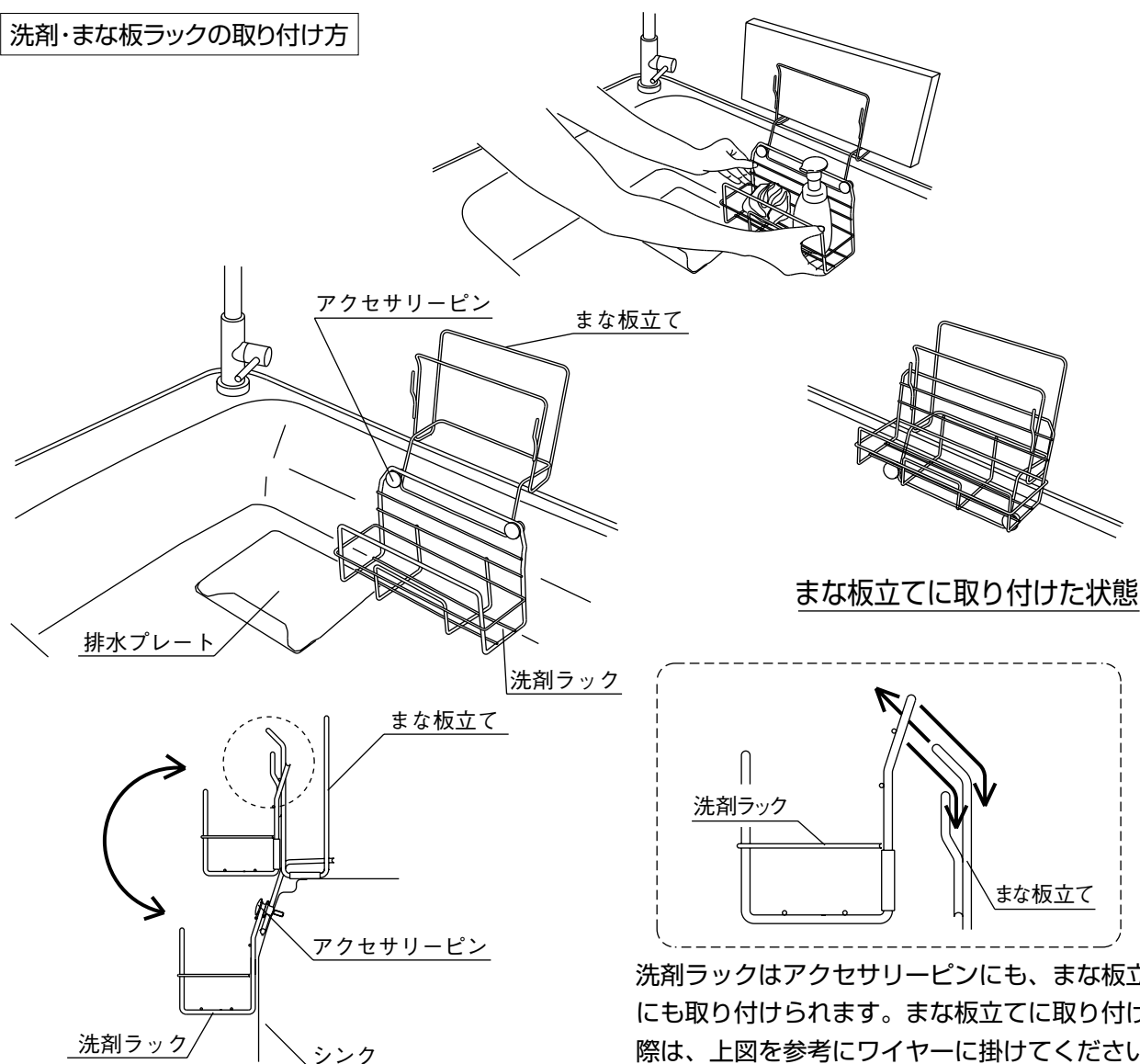
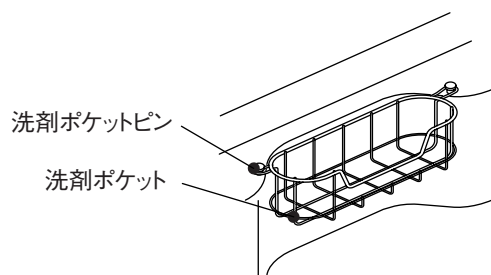
洗剤・まな板ラックの取り付け方

アクセサリーピン
まな板立て
排水プレート
洗剤ラック

まな板立てに取り付けた状態

まな板立て
アクセサリーピン
洗剤ラック
シンク

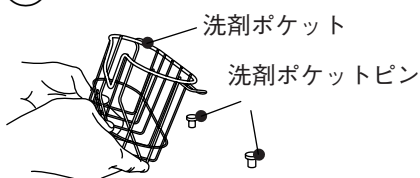
洗剤ラック
まな板立て

洗剤ラックはアクセサリーピンにも、まな板立てにも取り付けられます。まな板立てに取り付ける際は、上図を参考にワイヤーに掛けてください。

Dシンク用洗剤ポケットの取り付け・取り外し

取り付け方

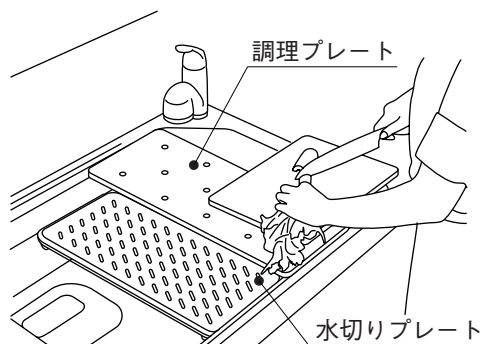
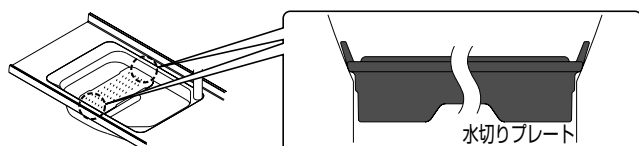
①洗剤ポケットの手前を持ち上げてください。
②洗剤ポケットを洗剤ポケットピンに対して斜めに傾けた状態で引っ掛けてください。
③洗剤ポケットを下ろし、はめ込んでください。

外し方

取り付け方と逆の手順で外してください。
※不用意に外れることを防止するために、真上から取り付け、取り外しをしにくくしています。

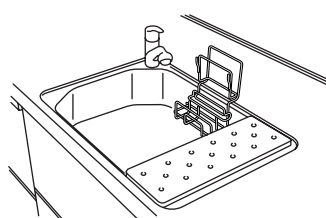
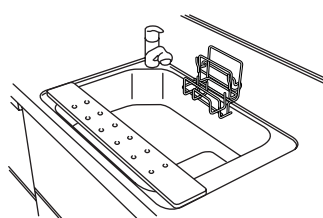
① 手前を持ち上げ傾ける

②

③

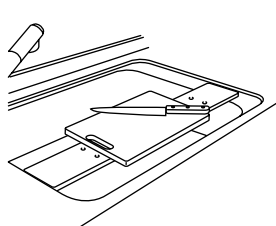
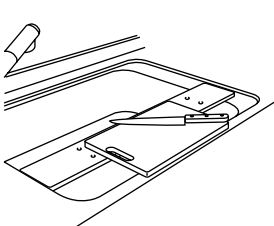
Vシンクオプション品の使い方

水切りプレート………シンク内の中段を活かし、ワークトップより一段低く設置できる「水切りプレート」で野菜の水切りやパスタの湯切り時も水がこぼれず安心です。
（耐荷重：5㎏）

<設置について>
・シンク内の傾斜部分に水切りプレートを設置してください。
⚠ ・しっかり固定できたか、確認してからご使用ください。
不安定のまま使用すると落下するおそれがあります。
・５kg以上、載せないでください。

⚠注意

●お湯の入った鍋などを水切りプレートの上には置かないでください。
●水切りプレート上で包丁などの刃物類は使用しないでください。
●水切りプレート上でまな板を置いて作業をしないでください。
ヤケドやケガをする恐れがあります。

調理プレート…………シンク上段に設置する調理プレート。まな板を使った切る作業や調理道具・食器等の水切りなど多目的に使えます。タテ置き型とヨコ置き型の２タイプをご用意しました。
（耐荷重：20㎏）

タテ置き型

ヨコ置き型

⚠注意

●調理プレート上でまな板を使用する場合は、必ずワークトップにまな板がかかるように設置し、安定した状態で作業してください。
不安定のまま使用すると落下しケガをする恐れがあります。

●硬い物や切りにくい物を切るときに無理な力を加えると、まな板や食材がすべることがありますのでご注意ください
不安定な物を切る場合はワークトップの上で作業してください。
●表面を上にして使用してください。
プレートがたわみ変形する恐れがあります。
●重い物をプレートに乗せるときは、偏りなく安定した状態になるようご注意ください。
バランスが崩れて落下する恐れがあります。

お手入れ方法

シンク

1日の終わりには…
水拭きをした後、よく拭き取った後、乾拭きをしてください。

ちょっとした汚れは…
スポンジに台所用洗剤を付け、
洗ってください。
その後、水で洗い流し、よく拭き取った後、
乾拭きをしてください。
水気を残すとサビや水あかが
発生する恐れがあります。

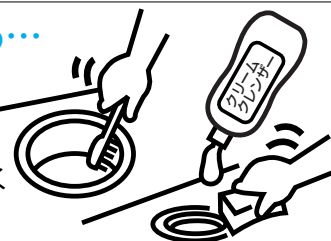
ザラつきが気になる…
水を少し含ませたスポンジに
クリームクレンザーを付け、
汚れを落としてください。
水で洗い流し、よく拭き取った後、
乾拭きをしてください。
水気を残すとサビや水あかが
発生する恐れがあります。

サビが出た!!
市販のメラミンフォームもしくは
クリームクレンザーなどで、
ていねいに、サビを落としてください。
サビを拭き取ったら、水で洗い流し、
よく拭き取った後、乾拭きをしてください。
水気を残すとサビや水あかが
発生する恐れがあります。

排水トラップ

1日の終わりには…
ゴミかごにたまったゴミをきれいに処理してください。
また、ゴミかごのまわりのゴミも除去してください。

ちょっとした汚れは…
スポンジに台所用洗剤を付けて
汚れを落としてください。
特に油を使う料理をした日は
汚れやすいので念入りに
行ってください。

ヌメリが気になる…
スポンジや歯ブラシに
クリームクレンザーを
付けて、ヌメリを落として
ください。その後、水でよく
洗い流してください。

3～6カ月に1度程度
排水トラップの汚れを取るために、市販の
パイプクリーナーをご使用ください。

排水の流れが悪い…
まず、わんを外し、トラップ部に詰まっている
野菜クズや汚れ、ゴミかごの目詰まりを取り
除きます。それでも流れが悪い場合は、わんを
外してからパイプクリーナーをご使用ください。

パイプ
クリーナー

※市販のパイプクリーナーをご使用の際は、使用方法をよく読んでから使用してください。ステンレス部分にはパイプクリーナーを付着させないでください。付着するとサビの原因になりますので付着した場合は、すぐに水洗いして、拭き取ってください。また、パイプ部分にパイプクリーナーを付着させたままにしないでください。

お手入れ上の注意

⚠注意

ヌメリ取り剤などを使わない
市販のヌメリ取り剤は、
塩素ガスを発生させ、シンクや周辺の
ステンレスが錆びる恐れがありますの
で使用しないでください。

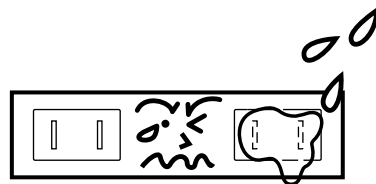
金属たわしや粒子の粗いクレンザー、金属磨き剤などを使用しない
金属たわし、ナイロンたわし、粒子の粗い
クレンザー類を、使用しないでください。
表面が傷つき、光沢や表面コートがそこな
われる恐れがあります。

塩素系洗剤、漂白剤、酸類などを使わない
塩素系洗剤、漂白剤、酸類などを
絶対使用しないでください。
サビの原因となります。

キャビネット（キャビネット・引き出し）

⚠警告

コンセントをぬらさない

感電や火災の原因になることがあります。

使用上の注意

⚠注意

扉や引き出しに乗らない

扉や引き出しに乗ったり、
ぶら下がったりしないでください。
蝶番やレールがこわれると落下して
ケガをする恐れがあります。
特に、お子様にはご注意ください。

引き出しや扉の開閉に注意

扉・蝶番や引き出しで、手足や指を
挟まないように気をつけて
開閉してください。
ケガをする恐れが
あります。

汚れたままにしない

油・調味料など食品の汚れは、サビや
腐食、カビの原因となりますので
早めに拭き取ってください。

ぬれたままにしない

木部が水を含み傷んだり、
レールや蝶番が錆びる恐れがありますので、
しっかり拭き取ってください。

包丁差しトレーの使用について

包丁差しトレーは、シンク前の引き
出しに設置されています。
包丁差しトレーの差し込み溝の中に、
包丁の刃を確実に納めてください。
お子様がさわらないように
ご注意ください。
ケガをする恐れがあります。

確実に！

重い物を載せない

変形や破損の原因となります。
載せすぎたり、1カ所に集中させないで
平均して載せてください。
各部材の耐荷重については
16ページを参照ください。
破損してケガの恐れがあります。

排水トラップ前に大きな物を収納しない

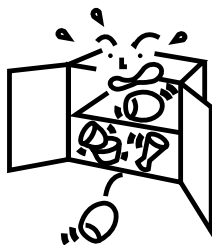
扉を閉めたときに排水トラップにぶつかり、
キズが付いて水漏れする恐れがあります。
鍋などは取っ手の向きにご注意ください。
引き出し背板に取り付けられている配管
ヨケの上に物を置かないでください。

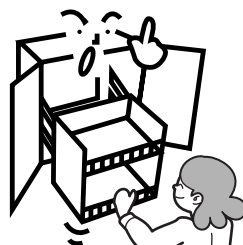
［シンク用ベースキャビネット］

扉が完全に閉まらないような収納はしない

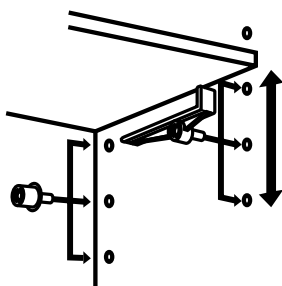
収納物が落下しケガをする
恐れがあります。

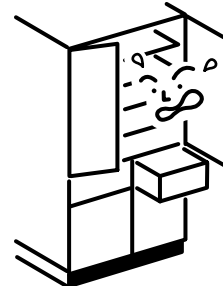
転がりやすい物を入れたり、不安定な積み方をしない

収納物が転がり落ちてケガをしたり、
破損の原因となります。

プルダウン収納の使用について

使用の際には製品に添付されている
専用の取扱説明書および本体に
貼り付けの注意事項を必ずご覧ください。
使い方を誤ると、事故や故障の
原因となる恐れがあります。

［プルダウン収納］

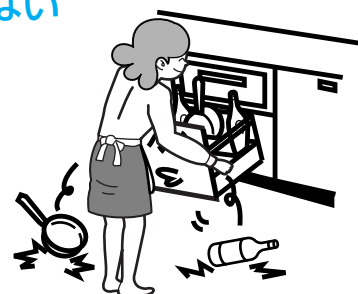
棚受けダボはしっかり差し込む

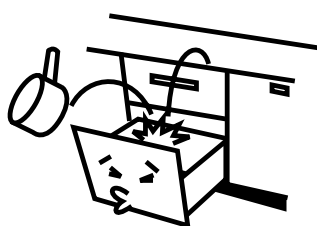
棚板は可動式です。
棚板を外し、棚受けダボをお好みの
位置に移動してください。
棚受けダボはすき間のないように
奥まで差し込んでください。

上下の扉や引き出しを同時に開けない

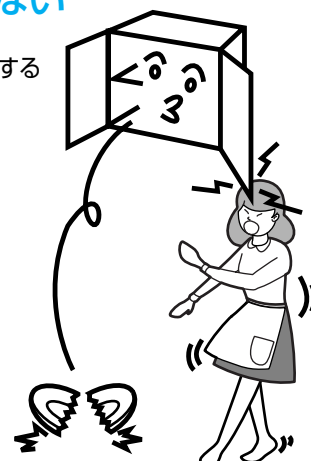
扉と引き出しを同時にあけると扉が
干渉し、キズが付く場合があります。

ガードバーを持って引き出しを外さない

ガードバーが破損したり、外れて
引き出しが落下する恐れがあります。

収納物が入ったまま引き出しを外さない

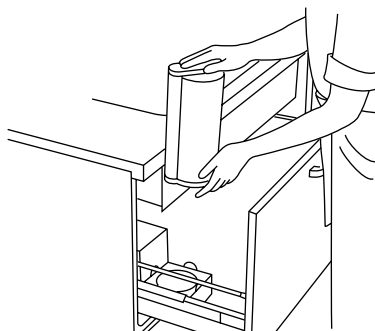
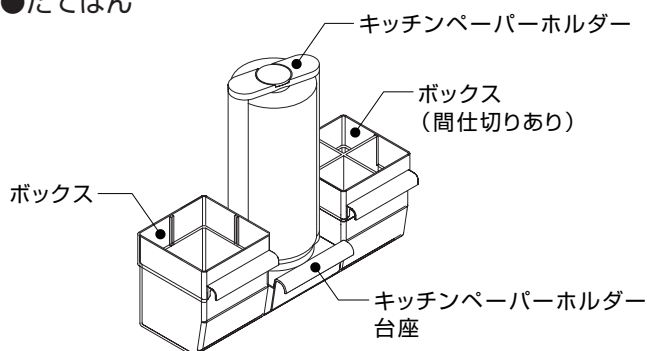
収納物が落下して
ケガをする恐れが
あります。

キャビネットにかたい物を落とさない、ぶつけない

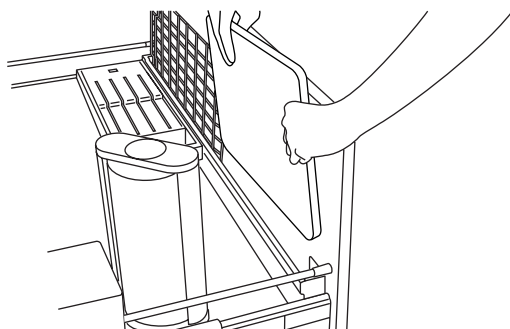
キズがついたり、破損したり
する恐れがあります。

扉を開けたままにしない

頭をぶつけてケガをしたり、
収納物が落下して、破損やケガをする
恐れがあります。

付属品の使い方

※製品により、付属されていない場合があります。

シンク用キャビネット

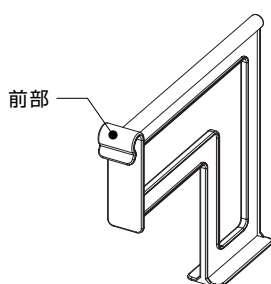
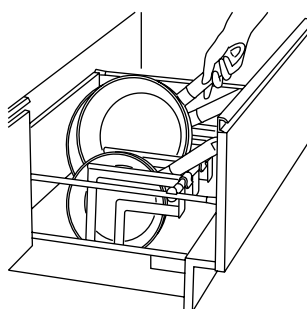
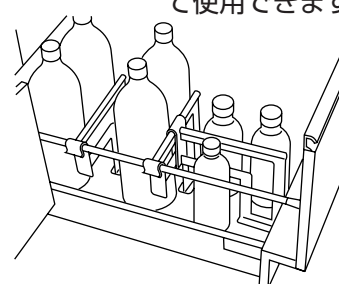
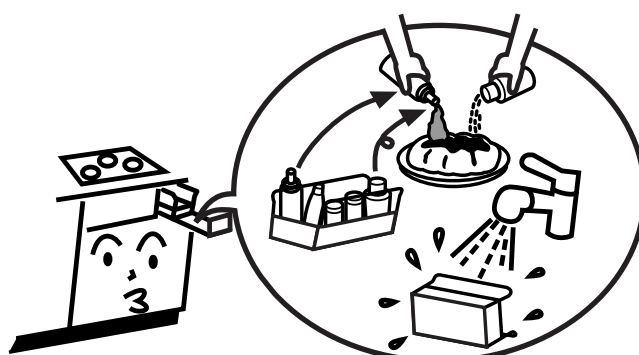
●たてぽん

キッチンペーパーホルダーやボックスは取り外して使うことができます。

●まな板たて
乾いたまな板やシンク用オプションを収納してください。

収納できるサイズ

・キッチンペーパー ……………………27cmまで
・ラップ ………………………………30cmまで
・まな板 ‥‥幅90cm、高さ31cm、厚さ2.4cmまで

加熱機器用キャビネット

●シキリータ
フロアラック引き出しのクロスギャラリーに前部をはめ込み置いてください。

前部

フライパンや鍋などを立てて収納してください。

間仕切りとしても利用
（シキリータ同士も組み合わせて使用できます）

●モバイルラック
加熱機器横の小引き出し内のモバイルラックは、取り外してご使用いただけます。
調味料をまとめてお使いになるときや掃除をする際に便利です。

使用上の注意

⚠注意

重量規定を守る

引き出し

金属レールタイプ
…耐荷重は15kgです。

フルオープンレールタイプ
…耐荷重は20kgです。

モバイルラック小引き出し

…耐荷重は3kgです。

カウンター

…耐荷重は30kgです。

スライドカウンターサポートカウンター

…耐荷重は15kgです。

キャビネット（ベース・ウォール共通）

棚板…耐荷重は20kgです。
底板…耐荷重は20kgです。

アップカウンター対面フラップダウン式扉裏収納

…耐荷重は5kgです。

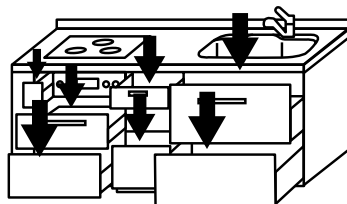
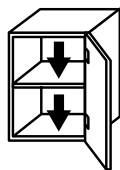
Vシンク用調理プレート

…耐荷重は20kgです。

Vシンク用水切りプレート

サポートメッシュ
…耐荷重は5kgです。

ハウスワーク収納

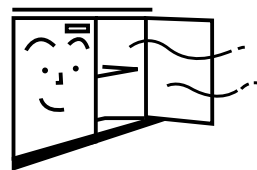
ハンガーパイプ
…耐荷重は8kgです。
おそうじラック
…耐荷重は200gです。

▼重量のめやす

品目	重量
ざるセット（大・中・小）	約0.7kg
ボウルセット（大・中・小）	約0.8kg
両手鍋（中）	約1.5kg
両手鍋（大）	約2.0kg
寸胴鍋	約3.5kg
フライパン（直径25cm）	約1.0kg
大皿（直径35cm）	約1.0kg
中皿（直径25cm）	約0.5kg
小皿（直径16cm）	約0.2kg

お手入れ方法

●中の物を取り出して、掃除機かほうきを使って隅々までゴミを取ります。
●薄めて作った台所用洗剤液を布に含ませ、固く絞り、軽く拭き取ってください。
その後、水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、
最後に乾拭きをしてください。
※油・調味料・食品の汚れを放置していると、
サビや腐食、カビの原因になりますので早めに
拭き取ってください。

湿気・臭気対策

湿気がこもりやすい場所なので、
時々扉を開けて、換気をよくしましょう。
消毒用エタノールを含んだ、
固く絞った布で拭いてください。

お手入れ上の注意

⚠注意

ぬれたままにしない

湿気がこもるとカビや臭気の原因となります。
また、引き出しレールや蝶番などのサビの原因
にもなります。
水拭きした後は必ず乾拭きし、
乾くまで扉は開けておきましょう。

使用してはいけないもの

●アセトン、シンナーなどの溶剤
●研磨剤の入った洗剤などは
表面を傷めます。

引き出しの調整方法

外し方

引き出しをストッパーに当たるまで引き、
持ち上げるように引き上げてください。

取り付け方

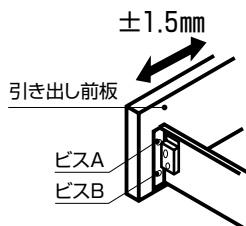
引き出しを持ち上げ、ストッパーの奥に
下ろすようにして入れてください。
フルオープンレールタイプの場合、
レールの上に引き出しを正しく載せ
（カチャという音がします）、
入れてください。
引き出して、ストッパーが
かかることを確認して
ください。

金属レールタイプ	フルオープンレールタイプ

目地が揃っていない…（左右調整）

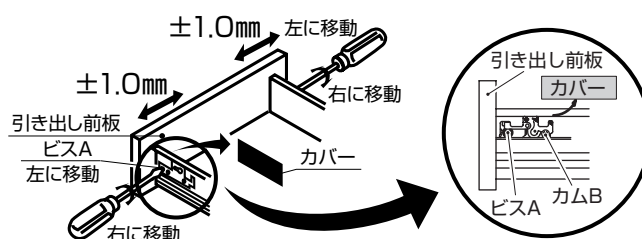
金属レールタイプ

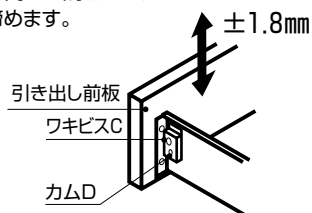
①ビスA、Bを緩めます。
②前板の左右位置を調整します。
③ビスA、Bを締めます。

フルオープンレールタイプ

①カバーを外します。

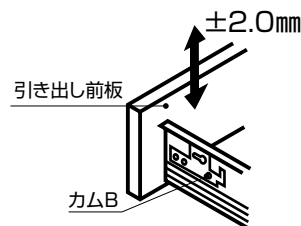
②ビスAを回して前板の左右位置を調整します。

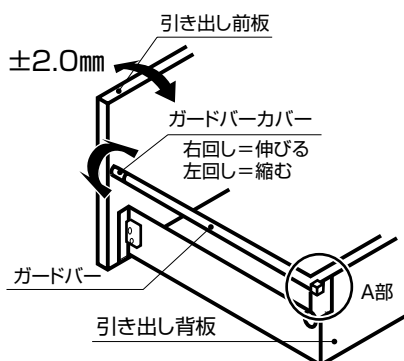
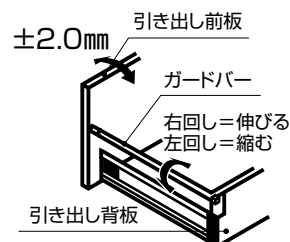
上下が揃っていない…（上下調整）

金属レールタイプ

①ワキビスCを緩めます。
②カムDを回して高さを調整します。
③ワキビスCを締めます。

フルオープンレールタイプ

カムBを回して前板の上下の位置を調整します。

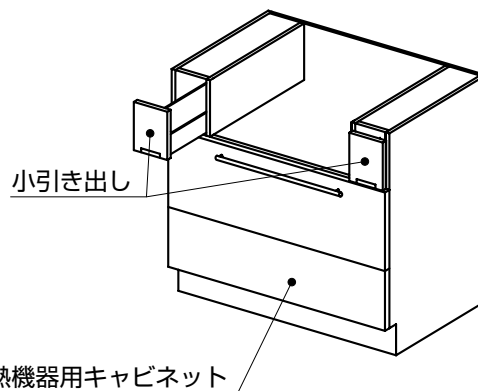
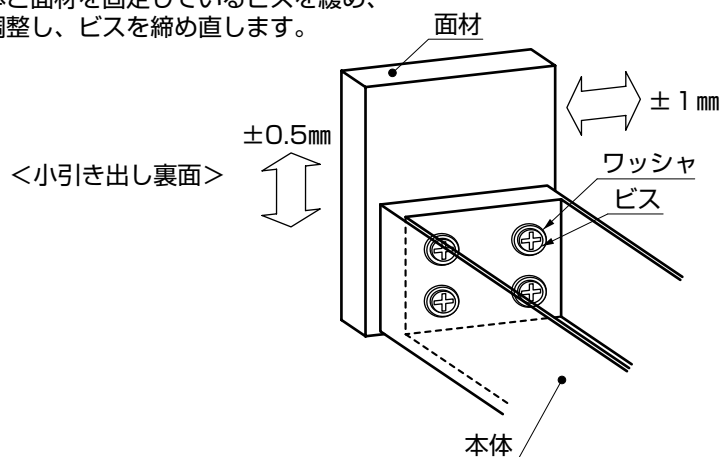
しっかり閉まらない…（前後調整）

金属レールタイプ

ガードバーカバーを回して傾きを調整します。
※ガードバーと背板を固定している部品（A部）が金属製の場合は、右図の方法で調整してください。

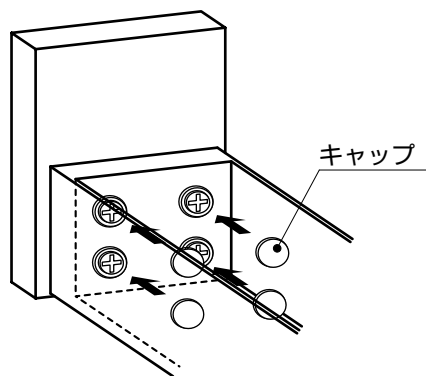
フルオープンレールタイプ

ガードバーを回して傾きを調整します。

⚠注意

フロアラック部にパーティションバーがついている場合は、パーティションバーのビスを緩めてから、ガードバーを回してください。

モバイルラック付き小引き出し面材の調整方法

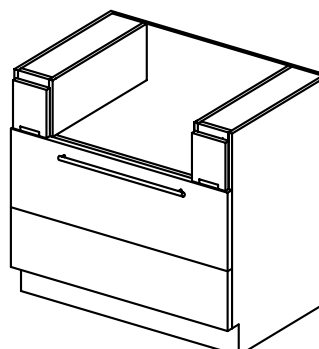
①キャビネットから小引き出しを
取り出します。

②小引き出し本体と面材を固定しているビスを緩め、
面材の位置を調整し、ビスを締め直します。

⚠注意

強く締め過ぎると本体が
破損する恐れがあります。
電動ドライバーは使用し
ないでください。

③キャップを取り付けます。

④キャビネットに小引き出しを取り付けます。

6 ロック機構（オプション）

使用上の注意

⚠注意

●地震のあと、傾きが正常に戻れば、ロックが解除されますので、最初に扉をあけるときには、収納物の飛び出しにご注意ください。
●ロック機構は収納物の破損を防止するものではありません。

●本体や受けをむやみに取り外したり、分解しないでください。正常に作動しなくなる恐れがあります。
●本体と受けの間に物を挟まないでください。
●ロック機構周辺に磁力のある物を近付けないでください。

●本体や受けの角で頭をぶつけないようご注意ください。思いがけないケガをする恐れがあります。

●本体に汚れや水滴がついた場合は、乾いた布で拭き取ってください。
●揺れ感知式のため手荒く開閉すると、誤作動が起こる場合があります。扉はゆっくり開閉してください。

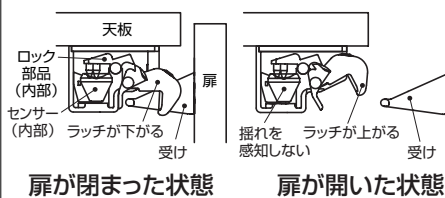
使い方

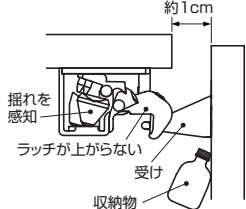
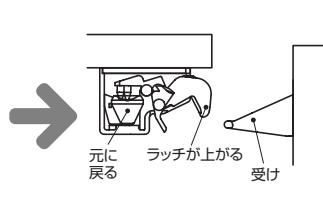
※キャビネットの設置状態、収納物の形状や地震の規模、揺れ方によっては、ロック機構が働かない場合があります。

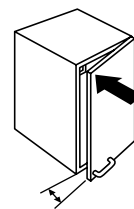
ロック機構の働き　（注:通常の使用時においては、ロックは作動しません）

通常時

扉が閉まった状態

扉が開いた状態

●揺れがないときはロック機構が作動しません。扉を開くとラッチが上がりますので、開閉に支障はありません。

地震のとき　　揺れが収まったとき

●地震などの揺れを感知するとロック機構が作動し、ラッチが上がらなくなるため受けがラッチに引っ掛かり、扉が開放するのを防ぎます。ただし、約1cmほど扉は開きます。

●地震の揺れが収まって静止状態になるとロックが自動的に解除されます。扉があいているときは、扉が閉まるまで押してください。キャビネット中の状態を確認しながら静かに扉をあけてください。

こんなときは…

●収納物によっては、少し扉があいてロック状態になることがあります。このときは、扉のロック機構が付いている付近を強く押すと、ロックが解除されます。

ロック誤作動時の解除方法　（注:通常の使用時においては、この方法を行う必要はありません）

万一、扉がロック状態になり開かなくなったときは、下記の方法で強制解除を行ってください。

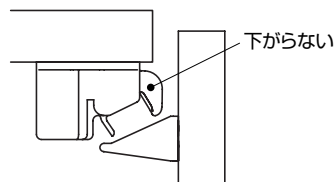
収納物の飛び出しにご注意ください。

①扉を開くと1cmほどのすき間ができます。ドライバーなど先の細い工具を差し込みます。

②差し込んだ工具で受けを押し下げます。

故障ではありません

症　状

扉を閉めるときにラッチが下がらない。

対　策

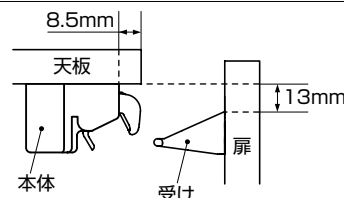
扉が下がっていることが考えられます。
本説明書の19ページ（扉の調整）に従って扉を調整してください。

調整の方法

■動作に不具合があった場合は調整が必要です。
①扉の蝶番を調整する。
●蝶番の調整で扉のすき間を合わせてください。
②受けと本体を調整する。
●ビスを緩めて右図の位置に調整し、締めなおします。
③動作を確認する。
●扉を4～5回開き動作に問題がないか確認してください。

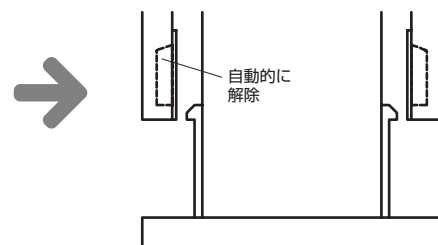
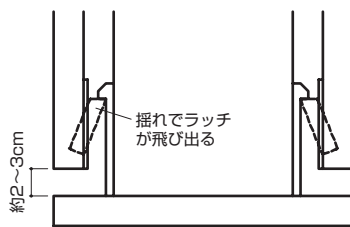
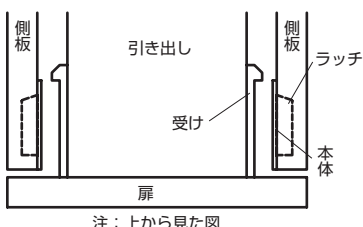
6 ロック機構付き引き出し（オプション）

使用上の注意

⚠注意

●地震のあと、傾きが正常に戻れば、ロックが解除されます。
●本体や受けをむやみに取り外したり、分解しないでください。正常に作動しなくなる恐れがあります。
●ロック機構は収納物の破損を防止するものではありません。
●引き出しを閉めた直後にあけると、わずかな振動でロック機構が作動する場合があります。引き出しはゆっくり開閉してください。
●本体や受けの間に手などを挟まないでください。ケガをする恐れがあります。
●本体と受けの間に物を挟まないでください。
●ロック機構本体に汚れや水滴がついた場合は、乾いた布で拭き取ってください。
●キャビネットの設置状況や振動などの状況によっては、性能を充分に発揮できない場合があります。

使い方

※キャビネットの設置状態、収納物の形状や地震の規模、揺れ方によっては、ロック機構が働かない場合があります。

ロック機構の働き　（注:通常の使用時においては、ロックは作動しません）

通常時

●ラッチが本体より出てきませんので引き出しの開閉に支障はありません。
※本体は側板に埋め込まれています。

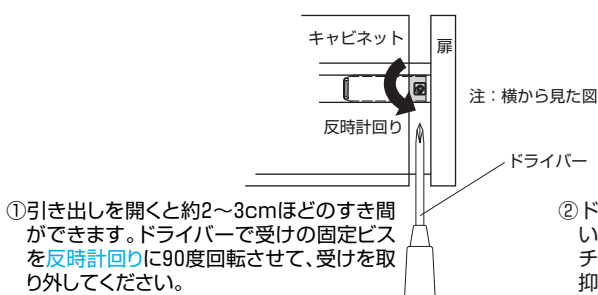
地震のとき

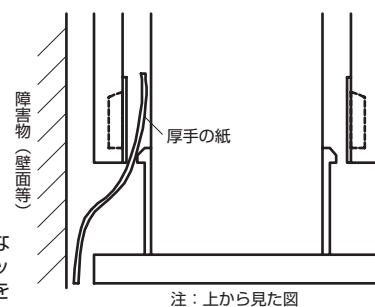
●地震などの揺れを感知するとロック機構が作動し、飛び出したラッチが受けに引っ掛かり、引き出しが開放するのを防ぎます。ただし、約2〜3cmほど引き出しは開きます。

揺れが収まったとき

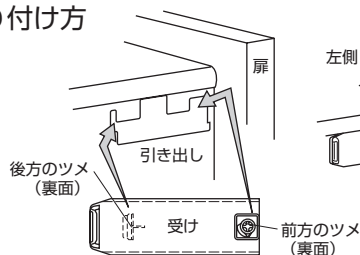
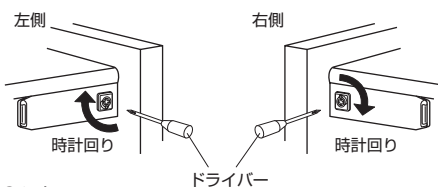
●地震の揺れが収まって静止状態になるとロックが自動的に解除されます。引き出しがあいているときは引き出しが閉まるまで押してください。キャビネット中の状態を確認しながら静かに引き出しをあけてください。

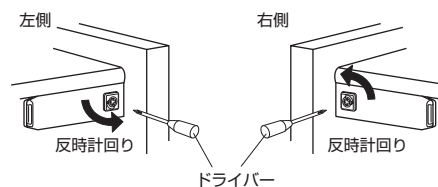
ロック誤作動時の解除方法　（注:通常の使用時において、この方法を行う必要はありません）

万一、引き出しがロック状態になり開かなくなったときは、下記の方法で強制解除を行ってください。
※収納物の飛び出しにご注意ください。

①引き出しを開くと約2〜3cmほどのすき間ができます。ドライバーで受けの固定ビスを反時計回りに90度回転させて、受けを取り外してください。

②ドライバーが障害物（壁面等）で使えない場合、厚手の紙（広告の紙等）をラッチと受けの間に差し込み、ロック状態を抑制して引き出しをあけてください。

ロック機構は、2度以上の傾きがあるとロック作動します。強制解除後、キャビネットの傾きやグラつきがないことと、取り付け面が凹凸なく水平になっていることを確認し、修正してください。それでも誤作動が起きる場合は新しい物と交換してください。

受けの取り付け方・外し方

取り付け方

①受けの後方のツメ・前方のツメを各々引き出し側面の溝に差し込んでください。

②受けの固定ビスをドライバーで時計回りに90度回転させ、引き出しに固定してください。

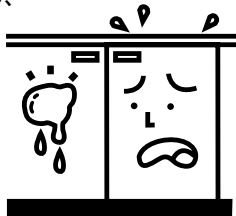
外し方

受けの固定ビスをドライバーで反時計回りに90度回転させ、受けを外してください。

7 扉・パネル

使用上の注意

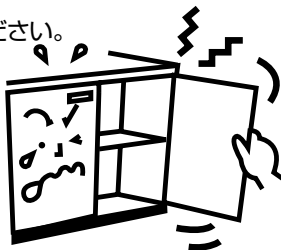
⚠注意

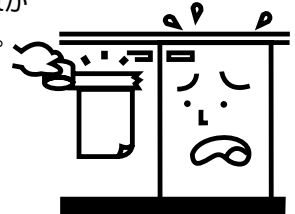
ぬれたり汚れたままにしない

ぬれたままでは、表面材がはがれたり、扉が膨れたりする原因となります。
また、汚れたままではシミなどの原因となります。
すぐにしっかりと拭き取ってください。

ぶら下がったり、乗ったりしない

蝶番やレールがこわれると落下してケガをする恐れがあります。
特に、お子様にはご注意ください。

やさしく開閉する

扉は軽く開閉できますので、あまり強い力を入れずに開閉してください。
扉を開閉する時は周囲の物に当てないように気を付けてください。

シールやテープ類を貼らない

粘着剤で表面が侵されます。
また、はがした後、汚れが残る恐れがありますので貼らないでください。

お手入れ方法

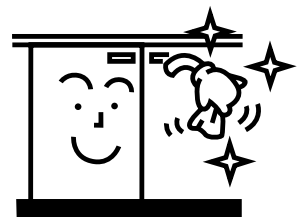
ちょっとした汚れは…

柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れが気になる…

固く絞った布で拭いた後、乾拭きします。

しつこい汚れは…

薄めて作った台所用洗剤液を布に含ませ、固く絞り、軽く拭き取ってください。
その後、水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。

お手入れ上の注意

⚠注意

洗剤を拭き残さない

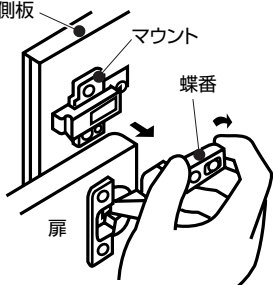
洗剤が扉に付着したまま放置されると、表面がはがれたり、扉が膨れたりする原因となります。付着した洗剤は水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。

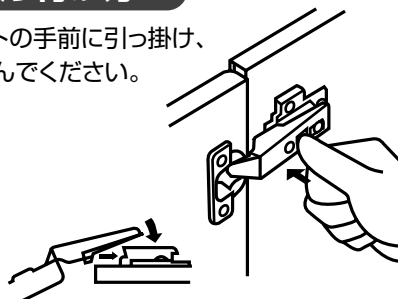
塩素系洗剤・漂白剤・溶剤などを使わない

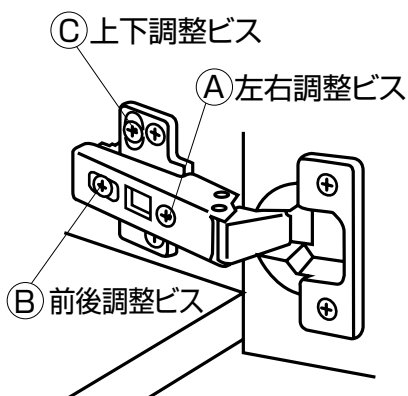
塩素系洗剤・漂白剤、シンナーなどの溶剤、研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。
変色や光沢をなくしたり表面を傷つけます。

調整方法

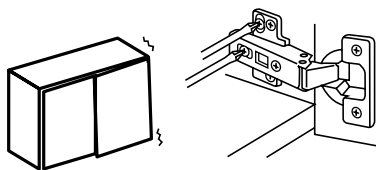
扉の外し方

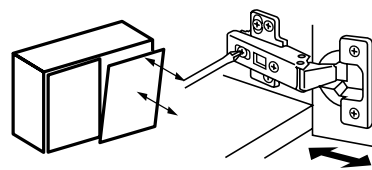
扉をしっかり支えながら、
蝶番の後側のツメを
引いてください。
扉が外れます。

扉の取り付け方

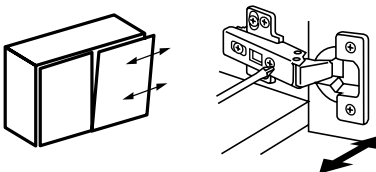
蝶番をマウントの手前に引っ掛け、
後側を押し込んでください。

扉の調整

扉に段違いが生じたり、ガタついたら、
図の要領で調整してください。

※ⒶⒷⒸ以外は固定ビスになります。

ガタついている…

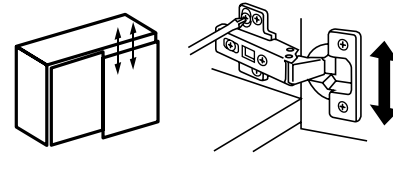
Ⓑ・Ⓒを固く締め付けます。
緩めて前後調整をし、締めなおします。
また、ⒶⒷⒸ以外の固定ビスも
しっかり固定してください。

しっかり閉まらない…（前後調整）

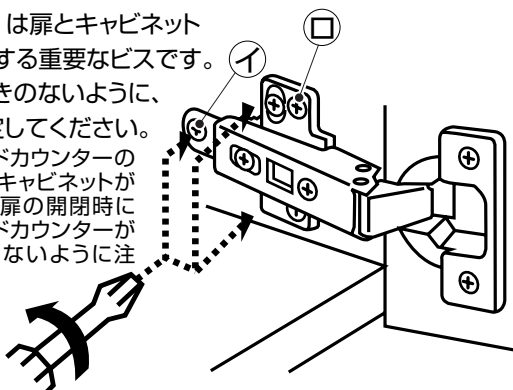
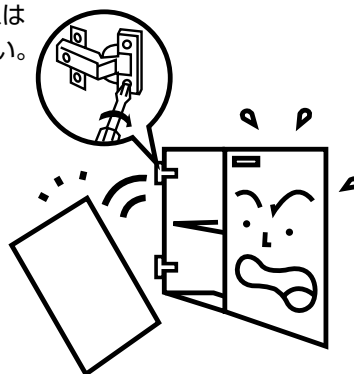
扉を取り付けた後Ⓑを緩めて
前後調整をし、締めなおします。

目地が揃っていない…（左右調整）

Ⓑの固定ビスを締めたまま
Ⓐを回して左右調整をします。

上下が揃っていない…（上下調整）

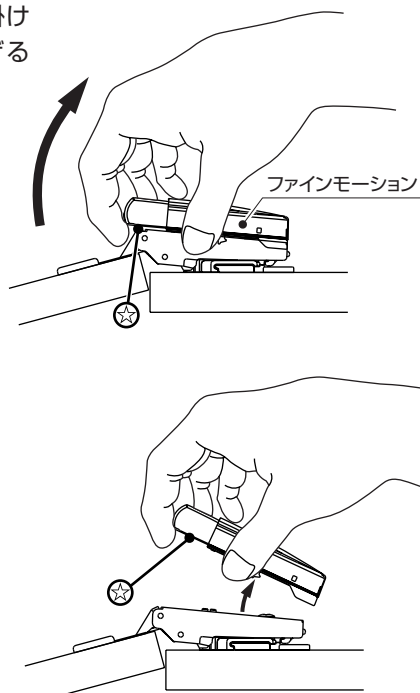
Ⓒを緩めて扉ごと上下調整したあと、
締めなおします。

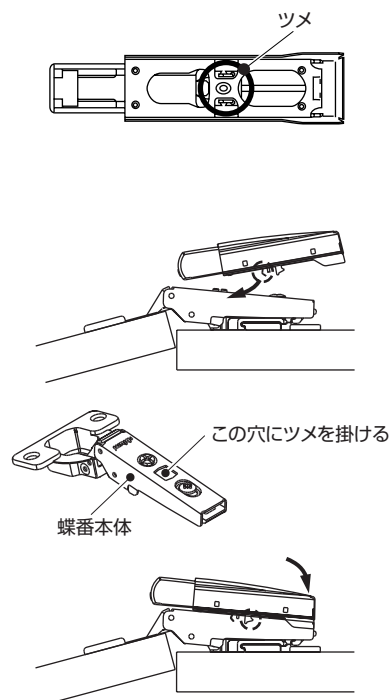
調整上のお願い

⚠ 注 意

ビス㋑・㋺は扉とキャビネット
本体を固定する重要なビスです。
扉のガタつきのないように、
しっかり固定してください。

※カップボードカウンターの
隣にトールキャビネットが
くる場合は扉の開閉時に
カップボードカウンターが
扉に接触しないように注
意ください。

上記ⒶⒷⒸ以外のビスは
絶対に緩めないでください。
緩めるとビスの
保持力がなくなり、
扉が落下してケガをする
恐れがあります。

調整方法（ファインモーション付き蝶番）

ファインモーション機構部の外し方

㊕の部分に指を掛けて、上に持ち上げると外れます。

ファインモーション機構部の取り付け方

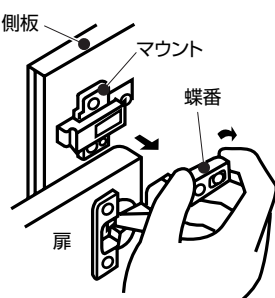
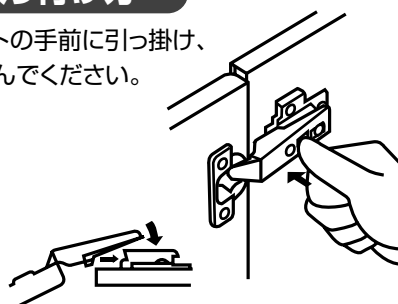
蝶番本体の穴にファインモーション機構部のツメを入れて、パチンとなるまで押し込んでください。

扉の外し方

扉をしっかり支えながら、蝶番の後側のツメを引いてください。
扉が外れます。

扉の取り付け方

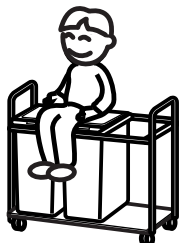
蝶番をマウントの手前に引っ掛け、後側を押し込んでください。

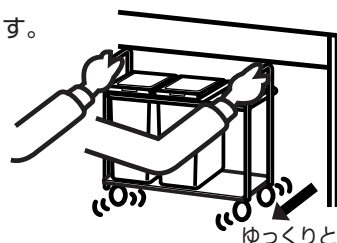
扉

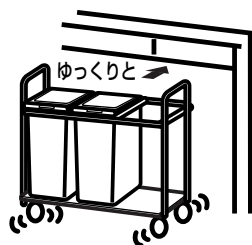
8 ワゴン（オプション）

使用上の注意

⚠注 意

ワゴン本体に乗らない

ワゴンが破損したり、落ちてケガをする恐れがあります。

ワゴンを勢いよく引き出さない

ワゴンが転倒して、ケガをする恐れがあります。

ワゴンを収納する際は、ゆっくりと入れる

勢いよく入れると、ぶつかってキズが付く恐れがあります。

ゴミはこまめに捨てる

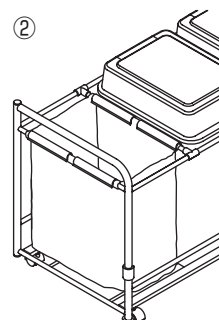
ゴミをためすぎると臭気のもとになります。
ゴミはこまめに捨ててください。

ポリ袋ストッパーの使用方法

付属のポリ袋ストッパーを使用し、スーパー等の袋を取付けることができます。

①ポリ袋ストッパーをワゴン本体からはずし、袋を図のように取付けます。
②ワゴン本体にポリ袋ストッパーを取付け、袋を固定します。

お手入れ上の注意

⚠注 意

塩素系洗剤・漂白剤・酸類などを使わない

塩素系洗剤、漂白剤、酸類などを絶対使用しないでください。
サビの原因となります。

使用してはいけないもの

●アセトン、シンナーなどの溶剤
●研磨剤の入った洗剤などは表面を傷めます。

9 家電収納（オプション）

⚠警告

コンセントをぬらさない

感電や火災の原因になることがあります。

スライドカウンター上で高温になるものは使用しない

トースター、魚焼き器、ホットプレートなど使用時に高温になるものをスライドカウンター上で使用しないでください。
火災の恐れがあります。

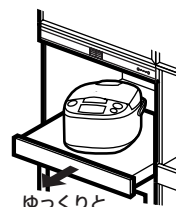
使用上の注意

⚠注意

蒸気排出ユニットは商品に添付されている取扱説明書および本体の注意表示をよく読んで使用する

使い方を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因となる恐れがあります。

カウンターを引き出す際は、ゆっくりと引く

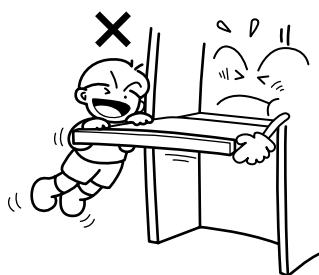
勢いよく引くと、電化製品などが転倒する恐れがあります。

電源コンセントの表示容量（ワット）をこえる電気器具は使わない

容量をこえて使用すると電源コンセント部が発熱し、火災の恐れがあります。

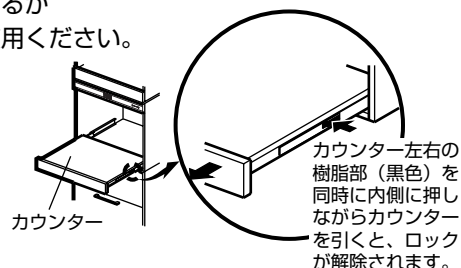
カウンターをしまう際は、電源コードを挟まないように注意する

断線し火災の原因になることがあります。

のったりしない

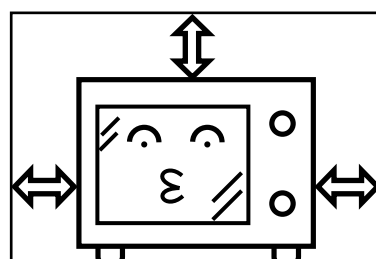
スライド棚を引き出した状態のときは、
スライド棚に寄りかかったり、登ったり、
ぶらさがったり、腰かけたり、
ぶつからないようにご注意ください。
ケガをする恐れがあります。

外し方・取り付け方

スライド棚は取り外しができます。

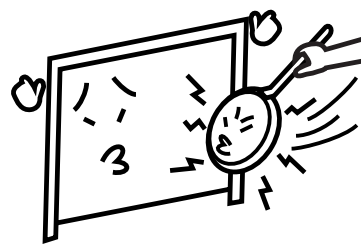
サイドレールの樹脂製ストッパーを左右共に押さえながら引き出せば簡単に外れます。取り付ける場合は、サイドレールに差し込んでスライド棚を奥まで押し込んでください。
確実に収まっているかご確認のうえご使用ください。
スライド棚が重いため、落ちると危険ですのでご注意ください。

電子レンジなどを置く場合は、天面、後面、両側面に器具指定の空間を設けてください。

離隔距離がないと、給排気が充分にできず、加熱して発火する恐れや故障の原因になります。
それぞれの機器に添付されている取扱説明書および本体の注意表示を必ずご覧ください。

離隔距離を充分取ってください。

10 オイルガードパネル（フルフラット対面の場合）

使用上の注意

衝撃を与えない

割れてケガをする恐れがあります。

お手入れ方法

ちょっとした汚れは…

柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れが気になる…

固く絞った布で拭いた後、乾拭きします。

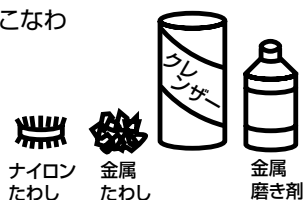
しつこい汚れは…

薄めて作った台所用洗剤液を布に含ませ、
固く絞り、軽く拭き取ってください。
その後、水拭きで洗剤分が残らないように
しっかり拭き取り、乾拭きをしてください。

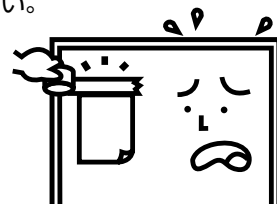
お手入れ上の注意

⚠注意

金属たわしや粒子の粗いクレンザー、金属磨き剤などを使用しない

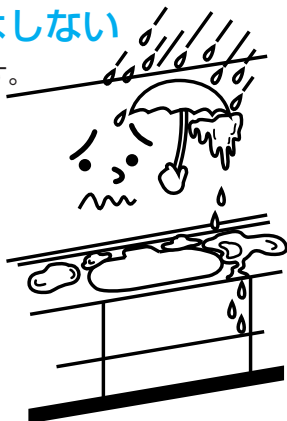
金属たわし、ナイロンたわし、粒子の
粗いクレンザー類を使用しないでく
ださい。キズが付き、光沢がそこなわ
れる恐れがあります。

燃える物やテープ類を貼らない

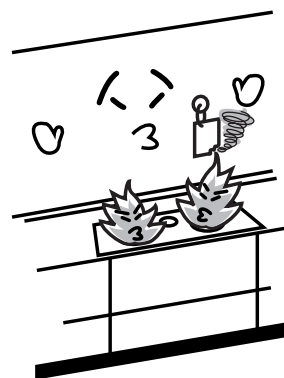
燃える恐れがあります。また、
はがした後、汚れが残る恐れが
ありますので貼らないでください。

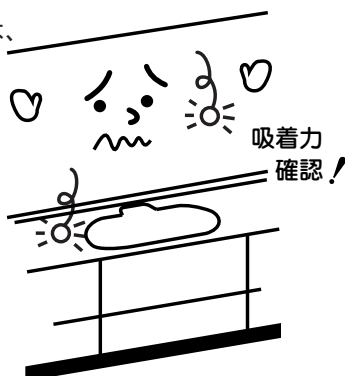
11 キッチンパネル（マグネットタイプ）

使用上の注意

⚠注意

常時水がかかる、または溜まるような環境下での使用はしない

フクレ、サビの原因になります。

加熱機器付近でのマグネットを使用しない

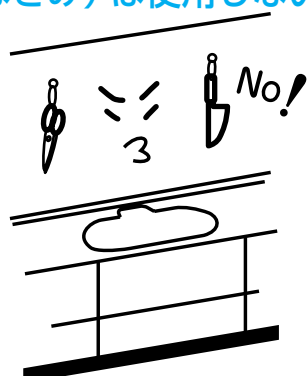
留めているメモ等が燃える恐れがあります。

マグネットの吸着力を確認した上で使用する

マグネットの種類、大きさによって、保持力が大きく変わります。
貼り付け、引っ掛け時には、マグネットの吸着力を確認してください。

マグネットの形状に注意する

形状によっては、キッチンパネルの表面に擦り傷が付く恐れがあります。

貴重品や壊れやすいもの、落下して危険なもの（包丁・はさみ）は使用しない

壊れたり落下してケガをする恐れがあります。

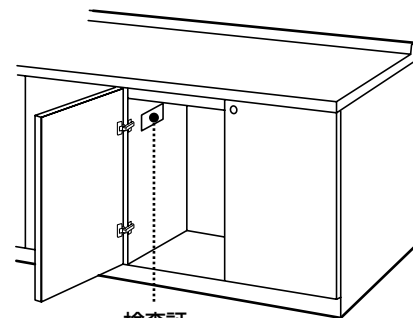
12 こんなときには?!

ガスや水道の元栓が閉まっていると、設備機器の故障と間違えることがあります。修理を依頼される前に以下のことをお調べください。

このようなとき	よくある例	ここをお調べください
お湯の出が悪い	●止水栓が締められている。 ●吐水口に水あかがたまっている。 ●水圧が低い。 ※不明な名称については水栓金具の説明書をご覧ください。	●止水栓を全開にしてください。 ●吐水口を掃除してください。 ●止水栓で調整してください。
水漏れがする	●止水栓の締め付け不足。 ●止水栓のパッキン不良。 ●水栓金具の取り付けナットの緩み。 ●ゴミ収納器の締め付け不良。 ※不明な名称については水栓金具の説明書をご覧ください。	●充分に締めてください。 ●パッキンを交換してください。 ●取り付けナットを締めてください。 ●充分に締めてください。
下水の臭いがする	●排水トラップの封水不良。	●排水トラップ部を点検してください。
ガスが点火しない	●電池の消耗。 ●元栓が閉まっている。 ●点火プラグが汚れている。 ※不明な名称についてはガス機器の説明書をご覧ください。	●電池を交換してください。 ●元栓を開けてください。 ●点火プラグを掃除してください。
IHが作動しない	●キーを押してもヒーターが入らない。 ●ヒーターが点滅後、消灯する。	●電源を入れてください。 ●鍋をヒーターの中央に置いてください。
蛍光灯が暗くなった	●蛍光灯の寿命が切れかかっている。	●蛍光灯を交換してください。
蛍光灯が点滅し始めた	●蛍光灯の寿命が切れかかっている。	●蛍光灯を交換してください。
蛍光灯が点灯しない	●蛍光灯の寿命が切れている。 ●蛍光灯がソケットにしっかり入っていない。	●蛍光灯を交換してください。 ●蛍光灯をソケットにしっかり入れてください。
扉がガタつく	●蝶番のビスが緩んでいる。 ●蝶番のビスが空回りをする。	●ビスを締めなおしてください。(22ページ参照)強く締めすぎないようにしてください。 ●ビス穴へマッチ棒やつま楊枝を接着剤と共に埋め、再度ビスを締めてください。
扉がギーギーと鳴る	●潤滑油不足。	●蝶番の軸へミシン油を差してください。差し過ぎると他のトラブルとなりますのでご注意ください。
扉が下がる	●ビスが緩んでいる。	●蝶番マウントの上下調整ビスで再調整し、ビスを締めなおしてください。(22ページ参照)強く締めすぎないようにしてください。
ロック機構の動作が悪い(引っかかる)	●ロック機構本体のラッチが下がっている。	●扉の蝶番マウントの上下調整ビスで再調整し、ビスを締めなおしてください。(22ページ参照) ●ロック機構の本体と受けの位置を調整し、ビスを締めなおしてください。強く締めすぎないようにしてください。(19ページ参照)

13 アフターサービス

■ 異常が発生した場合の使用はやめてください。「こんなときには?!」を見て、もう一度ご確認ください。それでも不都合な場合は被害拡大しないよう、水栓金具・食器洗い乾燥機の場合は止水栓、ガス機器の場合は元栓、電気機器の場合は電源をOFFにしてからアフターサービスを依頼してください。

■ アフターサービスを依頼される場合や、不明な点のご相談は、右図のラベルを確認のうえ、まず、販売会社・管理会社もしくはお求めの工務店・販売店へお問合せください。

■ 相談先が不明の場合は、弊社お客様相談センターへお問合せください。

お客様相談センター

フリーダイヤル 0120−685−110

受付時間 平日 9:00~19:00 土曜日 9:00~18:00
休業日 日曜日、祝日、年末年始

●加熱機器、食器洗い乾燥機、水栓金具の修理は本体もしくは、取扱説明書に表示している「フリーダイヤル」をご利用ください。

ご連絡していただきたい内容	
品名	システムキッチン
型名	
販売店様名	
引き渡し日	年　月　日
故障の状況	
ご住所	
お名前	
電話番号	
訪問希望日	

※おことわり

●製品の仕様や掲載内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

●扉など天然の材料を使用しているものについては、同色・同柄の同一部材を供給することができませんので、その節にはご容赦願います。

●保証内容、期間については、裏表紙に記載されている保証書をご確認ください。

保証書

保 証 書

品 名　　　　品 番

★お客様のお名前　　　　様

★ご住所　〒　　　　★電話番号（　　）　－

保証期間

※引き渡し日　　年　　月　　日から

2年間

（ただし、組み込み機器は別途添付されている保証書によります。）

取り扱い販売店名、住所、電話番号

★印、※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

記

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
引き渡し日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、無料修理いたしますので、お取り扱いの施工店または販売店に修理をご依頼ください。また修理に際して本書をご提示ください。

1.保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　①本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合
　②車両・船舶、業務用、病院や施設など、一般住宅以外に使用した場合の不具合
　③弊社が定める取付説明書等に基づかない取り付け、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
　④使用上の故意・過失または不当な修理や改造による不具合
　⑤お客様または第三者の不適切な使用または維持管理に起因する不具合
　⑥建築躯体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
　⑦経年変化または使用に伴う磨耗、変質、変色、反りなどの不具合
　⑧消耗部品の取り替えや修理
　⑨海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
　⑩漏水、結露等による長時間高湿度状態で放置の場合などの室内環境や自然現象に起因する不具合
　⑪犬、猫、鳥、鼠などの小動物や昆虫などの行為に起因する不具合
　⑫納入後、1年以上経過した場合の虫害
　⑬火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波などの天変地異または破壊行為による不具合
　⑭電気供給トラブル、指定外の電気を使用したことに起因する不具合
　⑮製造時に実用化されていた技術では予測不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合
　⑯取り付け完了時に申し出がなかったキズなどの不具合
　⑰その他、当該不具合の発生が弊社の責によらない場合
2.離島または離島に準じる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3.ご転居の場合には事前にお買上げの販売店にご相談ください。
4.本書は日本国内においてのみ有効です。
　Effective only in Japan
5.本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
6.キッチンに組み込まれる設備機器などについては、それぞれに添付されている保証書の内容をご確認ください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げいただいた販売店もしくは、弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

永大産業株式会社
http://www.eidai.com
住設事業部

お客様相談センター
0120-685-110
受付時間 平日 9:00~19:00 土曜日 9:00~18:00
休業日 日曜日、祝日、年末年始
E-mail : cs@eidai-sangyo.co.jp

T082Je1211hpHP第4版